



## 令和3年の新春を迎えて

コニカミノルタ株式会社 代表執行役社長 兼 CEO  
山名昌衛 YAMANA, Shohei

令和3年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。  
当協会の運営および活動に関しまして、平素より多大なご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症によって亡くなられた全世界の方々に謹んでお悔やみを申し上げるとともに、罹患された方々が一日も早く回復されますようお願いいたします。また、感染拡大防止に向けて第一線で働く政府・自治体職員の皆様や医療現場で日夜感染者の診断・治療に尽力されているプロフェッショナルの皆様に、心から敬意を表します。

新型コロナウイルスに関しましては、今後、少なくとも数年間は、新型コロナウイルスと共生しながらの事業活動が続くと覚悟しております。その中で人々の生き方、働き方が変化し、ニューノーマルの時代に入ることおきましても、常に人々の仕事や暮らしに役立つバリューを出し、事業変革のスピードをさらに加速させ、この難局を乗り切っていきたいと思っております。

バリューとは、顧客価値です。顧客価値はつねに「現場」にあります。そして「現場」とは、そこで働く人々の営みにほかなりません。そうした人々の求めている生きがいや創造性を突き詰めることなしには、本当の意味での顧客価値は生まれません。そのバリューを創出するのに重要となるが、「イメージング」の技術、すなわち「見えないものをみえる化」する技術です。これは人間のさまざまな創造やコミュニケーションに必須であり、そのニーズが消滅することはありません。

「見えないものをみえる化」するために、日本企業（当協会）の強みである光工学・電子工学及び機械工学の融合を極め、急速に進化するAI、5G等のデジタル技術との融合による新たな技術革新を活用し、DX活用による新たな価値の創出を協会メンバー一丸となり推進していきたいと考えます。

テクノロジーをバリューに昇華させるのはいうまでもなく人財です。当協会の大きな目的の一つとして、技術人財育成があります。コロナ以降も当協会はWEB開催を中心に人財育成活動は継続して参りました。今後は、テクノロジーを如何に顧客や社会のバリューに仕立てるかについても取り組んでいく所存です。引き続き、会員の皆様の御協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、令和3年が皆様にとって素晴らしい年になりますように、心よりお祈り申し上げますとともに、今後とも当協会への御支援、御協力をお願いしまして私の新年のご挨拶とさせていただきます。